

上部消化管内視鏡検査 予約票

様

検査日 年 月 日 曜日 時 分

15分前にご来院ください



検査前日の夕食は、午後9時までにとってください。
検査当日は、検査終了まで食事はとらないでください。



水分（お茶、水、スポーツ飲料）や薬は、
検査予約時間の3時間前（ 時 分）まで摂取可能です。



鎮静剤を使用して検査を行います。検査後30分～1時間程休息の必要があります。
検査当日の車・バイク・自転車の運転は事故の原因になりますのでご遠慮ください。
ご高齢の方は、ご家族等の付き添いをお願いいたします。

- ☐ まれに、のどの麻酔によりアレルギーを起こす場合があります。
過去に薬剤や食物でアレルギーの疑いがあった場合はあらかじめ医師にご相談ください。
- ☐ 血液をさらさらにする薬（バイアスピリン・プラビックス・ワーファリン・バファリン・プレタール・パナルジンなど）を服用されている方は、一定期間の休薬が必要となる場合がありますので、医師にご相談ください。
- ☐ ピロリ菌の検査を希望される方で、胃潰瘍の治療薬（タケプロン・パリエット・オメプラール・ネキシウム等）を内服している場合、2週間の休薬が必要になる場合がありますので、ご相談ください。
- ☐ 検査後、のどの麻酔が効いているため、一時間は飲んだり、食べたり出来ません。
一時間後にお茶や水を飲み、むせないことを確認してから食事をしてください。
また、検査後血を吐いたり、便がタール状になっていたり、
激しい腹痛や発熱があった場合は、すぐに診察を受けてください。
- ☐ 生検を実施した際は、当日の飲酒はお控えください。
- ☐ 総義歯は装着したまま検査しますので、外さずにご来院ください。
部分義歯は小さなものに関しては外して検査をします。
ただし、装着したまま検査できることもありますので、ご相談ください。



～ 上部消化管内視鏡の説明及び同意書 ～

- 目的　：　上部消化管（食道・胃・十二指腸）の異常の有無を観察します。
ポリープなどの異常が確認され、検査中に鉗子等での切除が可能な場合や組織を検査依頼する必要があると判断した時には治療や検査処置を行います。
- 方法　：　口より内視鏡（直径約 1 cm の管）を挿入し、上部消化管（食道・胃・十二指腸など）を観察します。
- 偶発症　：　内視鏡挿入時に、喉から出血することがあります。
全国平均ではごく稀に、麻酔によるアレルギー症状（約 0.0016％）、穿孔（約 0.001％）等が起こる場合があります。
- 前記記載に加え、他の予想されない偶発症や合併症が起こり得る場合もありますが、万が一の場合は外科的処置を含め応急的に対応します。
- その他　：　挿入困難や咽頭反射（ゲップや嘔吐等）が強い場合などは、稀に検査が施行出来ない事や、十分な観察が出来ない事があります。

御理解のうえ、ご署名をして、検査当日お持ちください。

年　　月　　日　　ご署名

新横浜整形外科リウマチ科：消化器内科